カトリック通信２９号　**一粒の麦**

ノートルダム清心中・高等学校
２０１５年１２月１７日

≪聖書の言葉≫　イザヤ書　８章５節

ひとりのみどりごが
わたしたちのために生まれた。
その名は、「驚くべき指導者、力ある神、
永遠の父、平和の君」と唱えられる。

日々の慌ただしさに流されることなく、
「平和」をもたらされる救い主を
私たち一人ひとりの心と家庭、社会の中に
お迎えすることができますように。

保護者の皆様には、いつも本校のカトリック教育に対しまして、ご理解・ご協力くださり、ありがとうございます。心から感謝しております。

２学期も学年や全校、そして有志で様々なボランティア活動やカトリック行事に取り組みました。カトリック通信２９号「一粒の麦」では、２学期に取り組んだ活動と行事の内容、そして生徒の感想などをまとめましたので、どうぞお読みください。

また、日本のカトリック学校の保護者に向けて年３回発行されている「よき家庭」も配布いたしております。こちらもどうぞお読みください。

2学期の活動から

○１０月２９日：高Ⅱボランティア学習

☆車いすユーザー竹上美枝子先生による講演会

今年度は新講堂建設工事に伴い、屋外での車いす体験が難しかったため、事前に保健の授業で車いす介助の学習を行い、HR では車いすユーザーの竹上先生からお話を伺いました。

事前の車いす介助体験と竹上先生の日常生活のお話やご自身の子どもさんを思ってつくられた絵本の朗読、質疑応答を通して、助けを必要としている方々と共に生きることを考える時間になりました。

○１０月２９日：中１ボランティア学習

☆太田川河川敷清掃

いつもお世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを込め、積極的に清掃活動に取り組みました。予想以上のゴミの量に驚きながらも、日頃なかなか表しにくい感謝の心を奉仕活動によって示すことを学びました。

○１０月３１日：学園慰霊祭（ミサ担当：高Ⅱ）

学園慰霊祭後に行われたピースフォーラムに向け、高Ⅲがクラスごとに宗教の授業で作成したスライド「平和な世界と平和でない世界」を視聴後、学園慰霊祭ミサに参列しました。

今年度も約５０名のご遺族と来賓の方々が参列されました。肥塚俥司神父様（広島教区）による司式で、厳かにミサが執り行われました。学園関係物故者の方々と、世界の各地で起こっている自然災害や戦争、紛争の犠牲となった人々のために祈りを捧げました。また、亡くなられた方々に思いを馳せることを通して「今生かされている私の命」について改めて見つめる機会となりました。

慰霊祭ミサに参列して

- 参加者全員が心を合わせて亡くなった方のご冥福をお祈りしていることがすごく感じられました。改めて人の命の大切さを感じて慰霊ミサの大切さを知りました。（中１）
- ミサ前とミサ後のご遺族の顔が少し違ったような気がしました。最初は悲しさをかみしめるように神妙な顔つきだったけれど、退場される時は優しく微笑んだりしてすっきりとした顔に見えました。それを見て歌を歌ったり、お祈りをしたりして良かったと思いました。（中２）
- どんなに時が経っても大切な人の死は忘れがたいものであり、だからこそこのミサのように同じ気持ちを味わった人々が集まってわかちあったり、歌を聞いたり、歌ったりすることは大切なことだと思いました。（高Ⅰ）

○１０月３１日：創立記念行事　ピースフォーラム（実行係：中１～高Ⅱ有志生徒）

テーマ「戦後 70 年を迎え、わたしたち若者は、平和をどのようにして実現していくか？」

戦後７０年を迎えた今年は、１１月１日の創立記念日に開催されている講演会に代え、慰霊祭ミサ後に全校生徒でピースフォーラムの場を持ちました。

事前に「身近な平和」、「平和学習」、「広島」、「世界と日本」について各クラスで話し合ったり、本校の生徒のものに加え、他校から寄せられた平和に関するアンケートに目を通したりしながら、個々人の視野や理解を広げ、当日を迎えました。

フォーラムは、平和活動体験者による報告と川本隆史先生（国際基督教大学教授）の講演、全体討論の三部構成で実施されました。沢山の清心生が個人で、あるいは団体で平和活動に積極的に参加していることを知ると同時に、自分の意見、考えを持って日々生活している上級生の話を聞く機会となり、互いに刺激を受ける場になりました。

なお、このフォーラムについての記録は、三学期末に配布する予定です。

○１１月２７日：カトリック研究会二学期末ミサ

中１～高Ⅱのカト研生が集まり、二学期を無事に過ごせたことへの感謝と救い主を迎えるクリスマスの準備ができるよう願いながら、ミサに与りました。

○ボランティア学習：広島修道院・乳児院訪問（土曜日）

☆４月～９月（中３）

☆１０月～３月予定（中２）

中３の活動が終了し、現在は中２が数名ずつで訪問しています。参加した生徒は童心に返り、元気いっぱいの子どもたちと一緒に遊びながらたくさんのことを学ばせていただいています。

○中・高 NDA（Notre Dame Action）委員会の活動

あしなが学生募金への参加、東北・北関東豪雨災害支援のための呼びかけ、広島土砂災害支援ボランティア情報の掲示、口と足で描く芸術家協会への協力、チャイルドファンドジャパン募金、ベルマーク・使用済み切手・ペットボトルキャップ・プルタブ集め、太田川河川敷清掃など身近なボランティアを積極的に行いました。

なお、三学期はじめには、インクカートリッジ（Canon、EPSON の純正）や書き損じはがきを集める予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

○１２月：クリスマス行事　テーマ：「生きる～過去から今。そして未来へ～」

★１１月２９日～１２月２４日　待降節（アドベント）

学校ではクリスマス行事に合わせて、本来の待降節よりも一足早く１１月２４日から以下のようなクリスマス準備を始めました。

≪全　校≫

☆クリスマスソングの放送（朝と放課後）

☆クリスマスの聖書箇所の朗読とアドベントカレンダーめくり（終礼時）

☆姉妹校や日頃お世話になっている方々へのクリスマスカード送付

☆クリスマスツリーやクリブ(馬小屋)、アドベントカレンダー（カトリック研究会作成）の設置と各教室や廊下などの装飾

☆募金活動及び文具、衣類集め

ノートルダム修道女会の施設があるジンバブエ（アフリカ）へ寄付

＊この活動は、年２回（５月・１２月）行われています。

★１２月１７日　クリスマス行事

☆クリスマスミサ（ミサ担当：高Ⅰ）

司式：金神父様（カトリック呉教会）

☆クリスマスタブロー（中３）

テーマ：「生きる～過去から今。そして未来へ～」

☆ハレルヤコーラス（高Ⅲ）

≪各学年≫

☆中１、中２クリスマス飾りの作成と装飾

☆中１：クリスマスの集い（カトリック観音町教会）と広島夜回りの会へ物資援助（カイロ・防寒着・毛布など）

≪校内のクリスマス準備の様子≫

中１　ステンドグラス・ミニツリー・リース

中学玄関　クリスマスクリブ

冬休み中の活動

○１２月１９日（土）１４時より　：カトリックフェア「クリスマスの集い　２０１５」
会場　エリザベト音楽大学セシリアホール

今年も、広島市内にあるカトリック学校（エリザベト音楽大学・広島学院・ノートルダム清心）がそろい、「ともに愛を届けよう」のテーマのもと、主の降誕を祝う集いを企画しています。

フェアでは、三校の成り立ちや各学校が大切にしているカトリックの精神を紹介する部と生徒、学生の舞台発表の部があり、盛りだくさんの内容となっております。

本校からは、中学音楽部と高校合唱部の演奏、中・高カトリック研究会によるクリスマスタブローの上演が予定されています。

是非、ご家族でエリザベト音楽大学セシリアホールまでお出かけください。

○１２月２４日（水）１６時より　本校講堂　：クリスマスミサ

毎年、クリスマスイブの夕方にクリスマスミサを捧げ、生徒、保護者、教職員が一緒にイエスご降誕のお祝いをしています。また、ミサ後には生徒手作りのケーキとクッキー、紅茶を召し上がっていただきながらの楽しい茶話会も準備しています。ミッションスクールならではのクリスマスのお祝いにご家族でお越しください。お待ちしております。

○１２月２５日（木）：八幡学園クリスマス会

高Ｉの NDA 委員と有志生徒が広島学院の奉仕委員と合同でクリスマス会を企画しています。今年は約４０名の子どもたちが八幡学園から参加することになっています。子どもたちが楽しめる会となるよう、準備に励んでいます。

≪カトリック教会の豆知識≫　クリスマス編

★クリスマスとは

クリスマスの言葉の由来は Christ　Mass＝キリストのミサ。「キリスト」は救い主の意味であり、イエスのことです。また「ミサ」はイエスと弟子たちとの最後の晩餐で行われたことを祝う集会のことです。

★クリスマスに関するあれこれ

・アドベント

教会では、クリスマス（降誕祭）の４つ前の日曜日から、クリスマスを準備する期間に入ります。カトリックでは、この期間をアドベント（待降節）と呼んでいます。

現在は日本でも、アドベントカレンダーやアドベントクランツなどが身近に見られるようになっています。

・クリスマス・キャロル

「キャロル」のもともとの意味は、ギリシア語で「歌い踊る」ことです。中世のはじめには、教会内に作られた幼子イエスが眠る「飼い葉桶」の回りを歌いながら踊っていました。それが発展し、音楽だけが独立してクリスマスの聖歌になったと言われています。

今日のようなクリスマス・キャロルを作ったのは、13 世紀の聖フランシスコという説もあります。

次号は、３学期末の予定です。　　カトリック教育部会